

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかり奈井江		公表日		2026年 3月 31日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・狭く感じるが物の配置等で少しでも広く使えるようにしている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	3	子どもたちとの職員の関係性等も配慮し配置している。 ・なるべく一人に対応することがない様に配慮している。	・子どもたちの状況によっては、足りないと感じることもある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		1	4	・バリアフリー化はされていないが、子ども達の状況に合わせた環境作りを意識している。	・引き続き、子ども達が過ごしやすい様に配慮していきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5		・掃除は毎日行っている。 ・活動部屋の動線を意識している。 ・活動内容によっては分かれて活動を行っている。	・引き続き、子ども達が安心して安全に遊ぶ事が出来るように配慮していきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		・必要に応じて2階の面談室を使いクールダウンスペースを確保し、安心して過ごせる様に配慮している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・会議等で話し合い、振り返りを行っている。 ・日頃から情報共有を意識している。	・日々の会話の中でも気づいた事は話をし業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎年アンケートを行っている。 ・連絡帳や送迎時等でのやり取りを通して意向等の把握に努めている。	・年1回のアンケートを配布し保護者からご意見を頂いております。アンケートでのご意見を参考によりよい支援に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・会議等で話し合いを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	・第三者による外部評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部、内部どちらも参加する機会がある。 ・外部研修は積極的に参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・プログラムは作成、公表されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・保護者との面談の内容をもとに分析し作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・毎月支援会議を開催し会議の中で、子どもの様子や課題について情報の共有を行い検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・計画は職員全体で共有し、いつでも確認が出来るようになっている。 ・計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・インフォーマルなアセスメントは日々の支援を通して状況の把握が出来ているが、フォーマルアセスメントの活用については、検討が必要。	・学校や医療機関で実施された発達検査結果を活用するとともに、日々の行動観察を合わせて定期的な評価と個別支援計画への反映を強化していきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・支援会議等で個々に必要な支援について話し合いを行い、具体的に支援内容の設定を行っている。	・お子様の特性や発達状況を踏まえて5領域に関する具体的な内容を設定していきます。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		会議等で話し合いを行っている。	・活動のねらいや利用児への関わり方などを確認しながら様々な視点から考えるように努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・出来るだけ同じような内容にならない様に話し合い決めている。	・お子様の発達段階や特性を踏まえ、色々な体験が出来るようにプログラムの立案に努めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・子どもの状況に応じて個別・集団等の活動を組み合わせる支援を行っている。	個別でのニーズと集団でのニーズを踏まえた個別支援計画の作成と支援に努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・活動開始前の打ち合わせの際に、その日の流れや役割分担、支援方法等の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・その日、もしくは翌日の打ち合わせの際に振り返りや反省等を行い、共有しています。また、普段の会話からも気づいた事はその都度、話し合い情報の共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々の支援について担当ごとに支援記録の入力を行い共有しています。	
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・定期的にモニタリングを行い、会議等で支援内容の見直しの必要性などを検討しています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・管理者、児童発達支援管理責任者、担当職員が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・こども園、保育園、通園センター等関係機関と情報の共有や共通の課題等を確認し連携を図っています。	・関係機関との連携と事業所内での情報共有を円滑に行えるように努めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・こども園、保育園等の在籍園との併行利用や移行に向けて利用の調整を行っています。保護者や関係機関との連携を図り情報を共有し支援方針について共有を図ります。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		・療育センター等で発達検査や知能検査を受けた場合、その報告書を保護者様の同意のもと職員間で共有しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		・保育所やこども園との交流の機会は設けていません。 ・近隣の公共施設や公園、地域のイベントへ行き、地域のお子様と関わる機会を作っています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・日々の送迎の際にお子様の状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別面談する時間も設けています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・研修は行ってないが、面談時や連絡帳などでお子様への関わり方や声掛け等をお伝えしています。	・今後はペアレントトレーニングに関する研修を年間計画に位置付け、職員間での関わり方の視点を共有していく。また、面談や連絡帳を通して具体的な助言を行い家庭と事業所が一貫した支援を行えるよう体制を整えています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	・契約時に説明させて頂いております。 また、不明な点はその都度職員が説明するようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	・お子様と保護者様の意向の確認を行い、個別支援計画に反映させています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	・個別支援計画の内容を説明する面談を設け、修正点等ないかを保護者様と確認し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	・6ヶ月に1回程度、定期的に面談を行うと共に、相談したいことがあれば適宜面談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	・保護者交流会を年3回、事業所親子レクを年2回設定し保護者同士の機会を設けております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	・申し入れがあった際には、電話や面談等を設定し迅速に対応するように努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	・月1回通信を発行しています。 ・HPやInstagram等でも活動の様子を公開しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	・個人情報が記載された書類は鍵付きの書類棚にて保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	・言葉以外に視覚からもわかりやすい絵や写真を使うなど伝達方法を工夫したり、伝わりやすい方法を利用児や保護者様に確認しています。 ・その日のタイムスケジュールや活動の内容はホワイトボードに記載しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	・ハロウィン行事の際には、近隣のお店にもご協力頂き開催することが出来ました。	・事業所の夏祭り等、地域の関係機関を招待するなど、地域に向けた事業運営を図っていけるように努めていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	・マニュアルは事業所会議等で確認を行っております。また、防犯、防災委員会、感染委員会等で定期的にマニュアルの見直しを行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	・定期的訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	・保護者から事前に聞き取りをしている。 ・健康記録等も記入して頂いており、変更があればその都度確認している。	・緊急時に適切に対応できるように、定期的に保護者様と利用児の既往歴や内服薬について確認し情報の共有を行っていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	5	・医師の指示や保護者からの情報に基づき対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	・外部、内部での研修を行い訓練も行っていきます。	・定期的な訓練や研修に参加し子ども達の安全を確保するように努めていきます。また、定期的に安全計画の見直しも行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	・訓練等の内容については、利用予定表や通信等で周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	・職員間で共有し再発防止に向けた話し合いを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	・内部、外部研修に積極的に参加している。 ・対応に困った時は、職員間で話し合い統一した対応が出来るように努めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	・対象児がいないため、行っていない。	